

議会 だより

議会会派では幹事長、そして 教育水道常任委員会副委員長として頑張ります。

2月23日（月）から3月27日（金）にかけて平成21年度予算議会が行われました。

今回北橋市長のマニフェストを更に実現推進する目的で、私を含め民主党所属議員の会派「市民の風」は社民市民連合と会派を合併し、全員で16名の最大会派「北九州ハートフル改革市民連合」となりました。会派には新人が6人も入り、4期目ということで私などが幹事長という重い役職につかせていただき、会派の中の調整と他会派とのやりとりなど、これまでにも増して議会の活動が忙しくなりました。議会活動、議員活動、そして家に帰れば家事に子育てと正直プレッシャーは大きいのですが、いつも「自分に必要なことはこない」と思いつつ、時間を効率的に使って頑張って参ります。

今議会では本会議での一般質疑の機会をいただきました。以下のような項目内容です。

1 教育・子育て支援日本一の まちづくりの実現に向けて

- 1) 「子どもの未来をひらく教育改革会議」について
- 2) 市民が教育や子育て支援にかかわっていただけ
る人材を募集し登録制度の創設について
また分野ごとの市民会議の立ち上げについて
- 3) 中学校完全給食の導入について
- 4) 校庭の芝生化の推進について
- 5) 5歳児健診の導入について

本市においてもここ数年特別支援学級に在籍するお子さんがかなり増えていますが、最近特に発達障害の支援の必要性が強く求められており、3歳時健診では何の指摘もなされていないお子さんも5歳児健診を行えば、小中学校で把握される発達障害のはほとんどに気づくことができるため、その有効性が注目されています。その実施により少しでも早く支援を行うことが大切と、この5歳児健診の導入について、見解を尋ねました。

2 健康診査のさらなる受診率向上に 向けての取り組みについて

- 1) 他県で実施されている中小企業をモデルに、1次検診費用を全額負担する支援事業などについて
- 2) 検診率の低い年少児を持つ母親を対象に、検診の指定日に予約制で保育士が子供の世話をする「ママ検診」について



3 本市の水道行政と 危機管理体制について

昨年12月29日若松区での配水管の漏水事故の際の問題点を具体的に上げ多方面から質問要望しました。

- 1) このような事態が今後できるだけ起こらないよ
うにするための予防策について
●今後の老朽管の更新計画などの見直し
- 2) 万が一事故や災害が起った場合の情報提供の
あり方について
●広報の仕方と他局との連携、病院などへの連
絡体制
- 3) 緊急時の給水体制について
●給水個所数、給水場所のあり方、高齢者や弱
者対策、給水タンクの台数や給水袋の配布の
仕方や数など計画の見直し、商店街や病院な
どへの対応 他
- 4) 危機管理のあり方について

4 若松区の公共交通の 利便性向上について

- 1) 若松区の交通結節点について市の考え方
- 2) 観光地である高塔山への公共交通のアクセス
について

現在高塔山公園の整備が進められていますが、ここに至る公共交通機関がありません。あじさい祭のときだけは、車掌が添乗したシャトルバスを運行していますが、道路

が狭く、大型バスのワンマンでの通行は現在の道路状況では難しい状況です。そこで、新しいスタイルでのおでかけ交通の実施を提案。おでかけ交通は、地域での運営となっていますが移動制約の方方が高塔山に気軽に遊びに行くことが可能となるように、また高塔山に住む高齢者の足となるように、市が主体となっておでかけ交通を実施してはどうかと尋ねました。

5 市立若松病院問題について

市立若松病院は昨年の6月から内科医師の不足のため、

特別委員会での質問

産業経済局

- 1、スギ花粉の少ないスギへの植え替えについて
- 2、農にふれあう場の調査検討状況
- 3、学術研究都市の図書館の利用について
- 4、若松海岸 いか・たこロードについて
- 5、商店街などで閉店するお店と新規開業を希望す
る方とを調整する機能を
- 6、雇用保険に入っていない方の就職支援について
(特に中年以降の方の職業訓練について)

教育委員会

- 1、学校給食の指導についてと食育検定について
- 2、35人以下学級の6年生での取り組みについて
- 3、保健室登校について

4、キャリア教育について

5、わかりやすい家庭教育資料の作成について

港湾局

- 1、新響灘大橋の国への要望について
- 2、若松南海岸通りの照明について(イベントや樂
器の練習の際に明るくできるように)
- 3、フェリーの高速料金値下げの影響についてと國
に対する働きかけについて

水道局

- 1、断水の際の赤水などのお知らせについて

他

詳しくは事務所までお問い合わせください。



健康診査の 大切さを痛感!

今回子どもをもってはじめての選
挙ということで、慣れないこともあり、
とまどう事ばかりでした。多くの男
性の候補者はあまり家庭のことや、
お子さんの事など心配せずに選挙に
没頭できると思いますが、私だけでなく女性の候補者は家族が手伝って
くれても、選挙期間とその準備の期
間をすべてお任せとはいかないのが
現状だと思います。今議会の中で女
性医師の半分近くが妊娠出産、又子
育て中に退職をしている現実につい
てふれましたが、忙しい仕事と子育

ての両立支援やワークライフバラン
スを特に考える必要性を強く感じ
ています。

ところで、私は昨年11月中旬に
母に誘われ何気なく子宮ガン検診を
受けました。その後再検査が必要と
の通知をいただき、再検査を受けま
した。結果はガンではありませんでした
が、お医者様から簡単な手術を
すすめられ、選挙後手術を受けました。
最近私の周りの同年代や年下の女性
で子宮ガンとの診断を受け、入院さ
れるという方も増えています。これ



まで身内をガンで亡くしながらも、
自分自身には全く関係のないもの
のように感じておりました。しかし今
回のことで検診を受けなければ先で
手遅れになっていたかもしれない、
改めて健康診査の大切さを強く感じ
ました。昨年から受診料も下がり受
けやすくなっています。ぜひ皆様も
定期的な健康診査をなさって下さい。